様式第３号（第４条関係）

バルク供給設備の技術上の基準

（バルク貯槽による貯蔵能力が500㎏を超え1,000㎏未満のものに限る）

|  |  |
| --- | --- |
| １．貯槽の設備状況 |  |
| ２．貯槽の適合性 |  |
| ３．保安距離 | ①第1種保安距離(法定1.5m・構造壁等又は埋設設置　0m)  　実際距離　　　m　保安物件の名称  ②第2種保安距離(法定1.0m・構造壁等又は埋設設置　0m)  　実際距離　　　m　保安物件の名称 |
| ４．構造壁等 | 壁の構造　材料　　　　　寸法(高さ)　 　m(幅)　 　m |
| ５．貯槽の表示 |  |
| ６．腐食防止措置 |  |
| ７．転倒防止等の  措置 |  |
| ８．プロテクター内  のガス漏れ検知器  の設置等 |  |
| ９．火気等との距離 | ①火気等との距離　　　　m  ②火気距離が２m以内　防火壁等の設置の有無 |

備考　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。

様式第３号（第４条関係）

バルク供給設備の技術上の基準

（バルク貯槽による貯蔵能力が500㎏を超え1,000㎏未満のものに限る）

|  |  |
| --- | --- |
| １．貯槽の設備状況 | コンクリート基礎上地上設置　等 |
| ２．貯槽の適合性 | 特定設備検査合格証（発行番号○○○○）を添付　等  ・規則第19条第3号ｲ  バルク貯槽は特定設備検査合格証又は特定  設備基準適合証を有するものであること。  ・写しを添付すること。 |
| ３．保安距離 | ①第1種保安距離(法定1.5m・構造壁等又は埋設設置　0m)  　実際距離　 1.2m　保安物件の名称　○○小学校  ②第2種保安距離(法定1.0m・構造壁等又は埋設設置　0m)  　実際距離　 10 m　保安物件の名称　一般住宅 |
| ４．構造壁等 | 壁の構造　材料 ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ等　寸法(高さ) 3.0m　(幅) 4.0m  バルク供給・充てん設備告示第2条  ➀構造壁等の設置は最大2方向まで　➁下部は地盤面に設置  ➂投影されたバルク貯槽の縦横より1m以上の長さ　➃開口部がないこと |
| ５．貯槽の表示 | ＬＰガス・火気厳禁（朱書）、緊急連絡先  規則第19条第3号ﾊ⑼⑽  ・液化石油ガス又はＬＰガス及び火気厳禁と朱書  ・緊急連絡先を表示 |
| ６．腐食防止措置  バルク供給・  充てん設備告示第10条 | 貯槽下地処理、錆止め塗装２回、上塗り塗装２回  基礎の高さ地盤面から５ｃｍ以上打設　等 |
| ７．転倒防止等の  措置 | アンカーボルト固定　等  バルク供給・充てん設備告示第15条第2項  ・ガス漏れ検知器を設置しなくてもよい場合  (例)漏えいの有無の確認を３カ月に１回以上実施するのであれば、貯蔵量に関係なく設置しなくてもよい  基礎部分が写った写真を添付すること |
| ８．プロテクター内  のガス漏れ検知器  の設置等 | バルク用警報器　○○○○設置　等 |
| ９．火気等との距離 | ①火気等との距離　○○　m  ②火気距離が２m以内　防火壁等の設置の有無 |

備考　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。